

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第18週)

宮城県【平成26年05月09日】発行  
 宮城県保健環境センター  
 TEL (022)257-7228

- 2014.4.28 ~ 5.4 ・ 第18週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第15週	第16週	第17週	第18週
水痘	3 0.60	3 0.30	2 0.40	1 0.50	2 0.67	1 0.20	2 1.00	11 0.42	25 0.43	840	レ→	○→	レ→	○
流行性耳下腺炎					2 0.67		2 1.00	7 0.27	11 0.19	202	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	69 13.80	61 6.10	15 3.00	13 6.50	9 3.00	15 3.00	16 8.00	257 9.88	455 7.84	8,959	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	2 0.40				1 0.33				3 0.05	22	→	→	→	
伝染性紅斑	4 0.80	1 0.10	4 0.80	4 2.00				11 0.42	24 0.41	643	○→	○→	○→	レ
突発性発しん	1 0.20	4 0.40		2 1.00	2 0.67	6 1.20	1 0.50	17 0.65	36 0.62	593	○→	○→	○→	レ
ヘルパンギーナ	1 0.20							1 0.02		6	→	→	→	
インフルエンザ	66 8.25	51 3.40	12 1.50	14 4.67	26 5.20	53 6.63	76 19.00	99 2.36	397 4.27	28,535	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱			1 0.20	2 1.00		2 0.40	7 0.27	12 0.21		161	→	→	→	
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.08		36	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 1.20	21 2.10	6 1.20	4 2.00	8 2.67	11 2.20	63 2.42	119 2.05	2,447	◎→	◎→	◎→	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							1 0.20	1 0.08		8	→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00			6 6.00	1 0.20	9 0.75	149	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		2 0.20		1 0.50				5 0.19	8 0.14	275	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		4		1	1	1				◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病		1								【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansens-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansens-center/</a>			
	不明発疹症				1									
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※							2	2	42				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

## 今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
  - 2類感染症: 結核
  - 3類感染症: 報告なし
  - 4類感染症: 報告なし
  - 5類感染症: アメーバ赤痢
- 塩釜管内 女性1名
- 仙台管内 男性1名(第17週)、男性1名  
 劇症型溶血性レンサ球菌感染症
- 仙台管内 女性1名(第17週)  
 破傷風
- 仙台管内 男性1名

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 3例

### 今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

#### 【インフルエンザ】

気仙沼管内で警報継続中。  
 県内の患者数は減少していますが、まだ警報継続中の管内がありますのでいま暫くは注意してください。

#### 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より  
 大崎管内 第18週採取分 ノロウイルスGⅡ 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第16週採取分 (4.14～4.20)	第17週採取分 (4.21～4.27)	第18週採取分 (4.28～5.4)
インフルエンザウイルスA/H1pdm	5件	1件	0件
インフルエンザウイルスB	2件	0件	0件
インフルエンザウイルス(解析中)	0件	1件	4件
RSウイルス	1件	0件	0件
アデノウイルス	2件	0件	1件
単純ヘルペスウイルス	0件	1件	0件

#### 【梅毒】

梅毒は都市部を中心に報告数が増加しており、平成25年は過去5年間で最も届出数が多い状況となっています。本県における患者数は44人で、特に20～40代の男性が約半数を占めています。妊娠している人が梅毒に感染すると、胎盤を通じて胎児に感染し流産、死産の原因になりますので注意が必要です。  
 宮城県では、平成26年5月から梅毒の早期発見・早期治療を目的に、県内9箇所の保健所・支所において、梅毒抗体検査を開始しました。  
 ※仙台市の保健所でも検査を実施しています。

## インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2014年 第13週	21.5	36.0	17.1	2.5	2.6	7.9	5.3	2.8	2.3	1.0	0.9	1,734
第14週	26.1	32.5	9.4	3.4	2.8	8.9	4.9	4.2	5.5	1.1	1.1	788
第15週	31.2	23.4	10.0	3.5	3.7	8.7	6.3	7.4	4.1	1.5	0.2	461
第16週	20.4	40.3	15.3	3.2	3.1	4.9	4.3	3.7	2.9	0.6	1.2	648
第17週	17.9	38.6	18.7	4.5	2.4	5.1	4.3	4.7	1.6	0.5	1.7	749
第18週	20.1	36.7	17.2	6.3	2.6	3.9	3.9	3.4	2.6	2.6	0.8	384

**インフルエンザ定点**  
 インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

### 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第16週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第10週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は青森県(9.03)、山形県(8.83)、山梨県(8.48)である。年齢別では0歳(12例)、1～9歳(66例)、10代(8例)、20代(2例)、30代(10例)、40代(3例)、50代(12例)、60代(18例)、70代(25例)、80歳以上(54例)であった。RSウイルス感染症: 報告数は513例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(4.53)、鳥取県(3.47)、富山県(3.28)である。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮城県(16.31)、大分県(13.56)、熊本県(11.50)である。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.20)、青森県(1.00)、宮城県(0.75)である。感染性胃腸炎(ロタウイルス): 定点当たり報告数は増加した。38都道府県から183例報告があり、年齢別では0歳(25例)、1～4歳(138例)、5～9歳(16例)、10代(1例)、20代(2例)、40代(1例)であった。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数